

News Release

東日本電信電話株式会社

平成 22 年 10 月 20 日

ヴァイブレーションズ オブ エンティティーズ

ICC企画展「みえないちから Vibrations of Entities」を開催

- NTT東日本が運営する文化施設 NTTインターコミュニケーション・センター^{*1}(以下、ICC)において、企画展「みえないちから Vibrations of Entities」を平成22年10月30日(土)から平成23年2月27日(日)まで開催します。
- 本展では、様々なエネルギーや知覚できない振動現象をはじめ、私達を取り巻く「みえないちから」を表現する作品を紹介します。
 - ※1 日本の電話事業 100 周年記念事業として、また NTT の文化・社会貢献活動の一環として、平成 2 年からプレ活動を開始し、平成 9 年東京都新宿区西新宿(初台)にメディア・アートの展示を中心としてオープンした文化施設。

1. 概要

音や光といったものは、振動現象の一種であることはよく知られていますが、例えば人間同士の関係性の中からも、物理的な振動としては知覚できないエネルギーのようなものを感じとることがあります。

この企画展では、そのような様々なエネルギーや現象としての振動をめぐり、多様に表現される「みえないちから」の作品を紹介します。

2. 開催期間

平成 22 年 10 月 30 日(土)~平成 23 年 2 月 27 日(日)^{※2} 11:00~18:00 ※2 休館日:毎週月曜日(月曜が祝日の場合翌日)、年末年始(12/27~1/4)、保守点検日(2/13)

3. 開催場所

NTT インターコミュニケーション・センター(ICC) 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー 4階~6階 (京王新線 初台駅東口から徒歩2分)

4. 入場料

一般·大学生 500(400) 円※3 /高校生以下無料

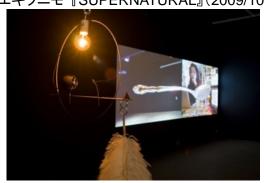
※3 料金は消費税込み、()内は15名様以上の団体料金。会期中1回に限り、再入場可。

5. 出品作家

エキソニモ、小金沢健人、志水児王、フォルマント兄弟、堀尾寛太

6. 主な作品

(1)エキソニモ『SUPERNATURAL』(2009/10 年)



2 つに切断され、さらに ICC と別の場所という 2 カ所に分断されたスプーンが、ネット空間を介してひとつに繋ぎ合わされます。メディア技術を利用して「一見すると自然なものと実は超自然かもしれないものを調和」させ、遠隔地にある物体(スプーン)を統合する試みです。

この様子は会期中、Web カメラを通じて常時中継される予定です。

(2) 志水児王『クライゼンフラスコ』(2007年)



回転するクライゼンフラスコ^{※4}にレーザー光線を通過および反射させることで、展示室内に様々な波形の光が映し出されます。特殊なレンズを数枚組み合わせて分光させることに加え、レーザー光の特質によって、ガラス器の形状やそれに厚みが存在すること、内部と外部があるということ、さらにその厚みに微小な変化があることを知ることができます。

※4 1883年にドイツの有機化学者クライゼン(1851-1930)によって 考案された、真空蒸留に使用される特殊なフラスコ。

作品展示のほか、オスカー・フィッシンガーによるビジュアル・ミュージック作品の上映や、アーティスト・トークの開催等、様々な展開を予定しています。

詳細は、別途ICCホームページ(http://www.ntticc.or.jp/)にてお知らせします。